

## 1. 短期展望 (p. 1)

- ① [日本経済は減速、そして増税] 小泉総理は平成18年9月の自身の退任までは国家財政破綻を起こさないことに専念、後は「知ったこっちゃない」。
- ② [アメリカ経済2005年はドル安・金利上昇] グリーンスパン議長は06年1月までの任期中にFF金利を3%台まで上げて退任の予定。
- ③ [アメリカはドル安を恐れず] ブッシュはキリスト教原理主義的信念から米国の金融破たんも覚悟、実物経済中心の米国経済への回帰を狙う。
- ④ [小泉内閣と靖国神社] 平成17年小泉首相が公約に反して靖国神社参拝を中止したら、日本恐るるに足らずと中共政府により在シナ日本資産は没収へ。

## 2. 展望①米中対決時代の到来 (p. 5)

- ① [北朝鮮を焦点に米中対決] 米中対決は手詰まり状態の台湾問題ではなく北朝鮮問題から噴出へ。
- ② [ライス国務長官の登場] パウエルと異なり、ライスは筋金入りの反中派。台湾少数与党は国民党内の隠れ独立派の寝返りで多数派に。
- ③ [反中外交の萌芽] 李登輝への来日ビザ発給、在台湾米使節に現役軍人配属等の背景にライスの意思が、ライス外交はすでに始まっている。
- ④ [反日宣伝の末路] 世界最大の侵略国家中共は、国内でたかまる共産党独裁批判の世論を反日に逸らし、保身を図る戦略。

## 3. 展望②東アジア情勢 (p. 10)

中曽根元総理を会長とする「東アジア共同体評議会」が発足、中韓主導の反米東アジア共同体構想にわが国産官民が無自覚に巻き込まれる。ウクライナの政権転覆に成功したソロス・ネオコン混成団は天安門事件の再現を狙う。プーチン・プリマコフは中印露3カ国戦略提携をも視野に対米駆け引きを活発化。

## 4. 展望③プーチンは何と戦っているのか? —中篇—

(p. 15)

プーチン大統領は西側記者との討論の中で、一連のロシアにおけるテロ事件に背景に、「一部西側の諜報機関・軍」—「新興財閥」—「チェチェン」という悪のトライアングルが存在すると発言。そこには米ソ冷戦時代に端を発し、ソ連崩壊を経て今日に至る国際政治の底知れぬ深い闇を読み解くヒントが潜んでいる。麻薬洗浄銀行BCCI、ベレゾフスキー、チェチェン・マフィア、バンク・オブ・ニューヨークなどの諸問題からプーチン発言の真意を検証する。

ケンブリッジ フォーキャスト グループ  
- 5

〒133-0057 江戸川区西小岩 1 - 3 0

TEL 03-3650-1475 FAX 03-3650-7873